

(5) 救出救護技術講習会・避難所簡易グッズ作り

【中学校編】

大規模災害が発生し多数の負傷者が出た場合、自分たちも「助ける側」になれることを実感させるため、救出救護技術講習会を実施した。

また、災害から命を守った後の生活において、身近にあるものを工夫して活用するなど、物がなくても知恵を出し合えば解決できることがあることを学習させるため、避難所簡易グッズ作りを実施した。

(ア) 実施日時

9月25日(火) 13:15～15:00

(イ) 参加者：一色中学校1年生 生徒194名、1年担当教員(中核教員2名含)

進行/サポート：西尾市消防署職員4名、危機管理課職員4名

(ウ) 活動内容

生徒約200人を半分に分け、救出救護技術講習会と避難所簡易グッズ作りをローテーションで実施した。

□救出救護技術講習会

はじめに、生徒たちは「本結び」の実技訓練を実施した。普段の結び方と異なるため、苦戦する生徒もいたが、結び目が簡単に解けると自然と歓声があがった。その後、三角巾を使用しての応急処置として、腕吊りや頭部被覆の方法を習得していった。また、訓練の中で、清潔操作を徹底することや、三角巾がなくても代用できるものなどについても学ぶことができた。

後半は、応急担架作りを実施した。担架については、毛布と竹を使って作るだけでなく、竹がない場合や毛布がない場合などの担架の作り方も教わった。また、搬送する時の注意事項などについても学習し、生徒たちは傷病者役を励まし、声をかけながら搬送練習を行うことができた。



「本結び」を教わる生徒



「腕吊り」「頭部被覆」を教わる生徒



声をかけながら搬送訓練をする生徒



□避難所簡易グッズ作り

避難所簡易グッズ作りに入る前に、避難所の様子分かる写真を見せ、避難所では普段使っているものが手に入らないことを伝えた。そして、「身近にあるものを代用して、必要なものを作ることはできないか」という質問を生徒たちに投げかけた。生徒たちは「新聞紙を使って食器や座布団を作ることができる」「ビニールを使えばカップを作ることができる」など、思い思いに自分の考えを発表することができた。

その後、生徒たちは新聞紙を使って「スリッパ」や「食器」などを作成していった。既に小学校で避難所簡易グッズ作りを経験している生徒もいたが、作り方を忘れていた生徒もいたことから、繰り返し実施していくことが大切であると感じた。



説明用のスライドの一部



何が作れそうか話し合っている様子



説明を聞きながら、熱心に避難所簡易グッズ作りをする生徒の様子

【生徒の振り返り】

- 担架が意外と丈夫だったので驚きました。やり方をずっと覚えておいて、いざという時には自分も救出・救護の手助けをして、多くの人を助けられるようになりたいです。
- 新聞紙だけでいろんなものが作れることを知りました。家に帰ったらもう一度練習して、家族にも教えてあげたいです。また、防災バッグの中に新聞紙を入れておこうと思いました。そして、本当に地震が来た時は、率先してみんなの役に立てるようになりたいです。

【小中合同編】

中学校で実施した救出救護技術講習と避難所簡易グッズ作りを、中学生の有志にも参加してもらい、小学校でも同様に実施した。

(ア) 実施日時／場所

10月9日(火) 13:40～15:30 / 一色南部小学校

(イ) 参加者：一色南部小学校5年生 児童37名、一色中学校1年生 生徒37名、中核教員3名

進行／サポート：危機管理課職員4名

(ウ) 活動内容

小中合同での実施としたが、既に経験のある中学生が「教え役」となり、小学生と1対1で対応してもらったため、小学生の習得も早くスムーズに進めることができた。また、活動を通して、小学生と積極的に関わり、得意気に教える中学生の姿をたくさん見ることができた。中核教員からは、「中学生のおかげで児童も意欲的に取り組むことができ、災害に対する知識と技能が定着したように感じた」との感想が聞かれた。

小中学生が一緒になって防災について学び、活動する機会を設定したことで、同じ地域に住む「仲間」としての意識も強まったように感じた。一方で、こういった活動を地域の方々も巻き込んで実施することができれば、さらに地域の結束力も強まり、いざという時には大きな力になると感じた。



中学生の説明を熱心に聞く児童



得意気に児童に結び方を教える生徒



「毛布がなくても担架は作れるんだ！」

【児童の振り返り】

- ・避難所簡易グッズ作りは、中学生が優しく丁寧に教えてくれたので、上手にできました。家族や、機会があれば下の学年の子にも教えて、広めていきたいです。
- ・担架での搬送訓練では、実際に運ばれてみて、頭の方からよりも足の方から進んだ方が怖くないと思いました。いざという時には、みんなで協力して、学んだことを生かせるようにしたいです。
- ・愛知県でも大きな地震が来ると言われています。今日の活動を通して、人の役に立ちたいと思いました。そして、災害時には自分のできる限りのことをしたいです。

【生徒の振り返り】

- ・小学生に教えることを通して、自分自身のポテンシャルが大きく上がったように思います。これからも小学生に限らず、地域の方などいろいろな人に教えていきたいです。
- ・「一度やったことがある」という経験があれば、いざという時にすぐに行動に移せるのではないかと思います。
- ・みんなで協力して頑張ろうという積極的な気持ちが、防災のことを学び、多くの人に伝えていく上で大切なものなのかなと感じました。